



APAY eNews

翻訳: 永岡美咲 (日本YMCA同盟)

南アジア・サブリージョン 地球市民育成とユースの会合

Julia Mun Pan



アジア・太平洋YMCA同盟 (APAY) のユース参画・リーダーシップ開発委員会 (以下、ユース委員会) は、南アジア・サブリージョン (インド、スリランカ、バングラデシュ) のユースとラオナッティ (Raonatti。訳注: 韓国YMCAによるアジア各国へのユース・ボランティア長期派遣プログラム) 参加者の韓国ユース、全 35 人が集う会合を行いました。このプログラムは 2013 年 1 月 18 日～23 日、バングラデシュ・ダッカのサバルにある YMCA トレーニング・センターにて、「ユース・エンパワーメントに関する南アジアの現状と YMCA の役割」をテーマに行われました。また、この会合は南アジア地域のユース委員が主体となって行われたサブリージョンのプログラムです。

プログラムは、ユース委員会メンバーのリーダーシップにより運営されていました。参加者全員が感銘を受けたのは全体テーマ「ユース・エンパワーメントに関する南アジアの現状と YMCA の役割」に沿った、Peter Halder 博士 (Bangladesh Youth First Concern: ドラッグや HIV/AIDS 関連 NGO のディレクター) による、基調講演でした。他のインプット・セッションでは、APAY 主任主事 Eloisa Borreo 氏から「グローバル化のコンセプト理解と APAY の視座」というトピックをカバーする内容、バングラデシュ YMCA 同盟会長 Babu Markus Gomes 氏から「ユースに対する情報ツールのインパクトと技術」、Faustina Pereira 博

士より「エンパワーメントの声を通したジェンダー公正の達成」、そして William Proloy Samadder 氏より「YMCA リーダーシップの課題 (imperatives) とスキル」について講義がありました。上記の講義内容は、南アジアの国々が長く直面してきた問題です。さらに、インプットの内容に関連したチーム・ビルディングのアクティビティーや、「世界がもし 100 人の村だったら」や「貿易ゲーム」などのチーム対抗ゲーム他、楽しいゲームが行われ、参加者たちはグローバル化や実際に世界で起きていることについてより理解を深めることができました。

プログラム 3 日目の午後には、参加者全員で BARACA (Bangladesh Rehabilitation and Assistance Center for Addicts: 薬物依存症患者のためのリハビリ・支援センター) を訪問しました。同センターでは、現在 35 人が治療を受けていますが、BARACA では治療だけに限らず、職業訓練、収入創出プロジェクト、HIV/AIDS 予防、研究や、他の薬物依存の治療・リハビリセンターとのネットワーク構築、BARACA や他センターのスタッフ研修など様々なプログラムを行っています。参加者たちは、2 人の薬物依存症患者が薬物によって生活が崩壊し、彼らの希望や夢が奪われたという話に驚きました。しかしながら 2 人はあきらめておらず、新しい人生を始めるために、薬物依存症と闘っているのです。

深刻な問題について学び、ブレインストーミングした後、参加者たちは最終日の夜に開かれたカルチュラル・ナイトのイベントで楽しみました。



南アジアの国々の文化がよく似ていることは興味深いことでした。それぞれの国の参加者は、パフォーマンスをしながら自分の国の文化について紹介をしました。パフォーマンスの後、バングラデシュ YMCA 同盟会長・総主事お

び APAY 主任主事より、プログラムの修了証が授与されました。

全体的には、この会は成功を修め、参加者からもよいプログラムであったというフィードバックがありました。プログラム全体を通して積極的に参加してくれたユースたち、またリーダーシップの役割を担ったユース委員たちによって運営され、また意義深いユース主導のプログラムとなったことに感謝申し上げます。

総主事デスクより・・・
2013年のAPAYプログラム等予定一覧



アジア・太平洋YMCA同盟総主事 山田公平

2013年計画・スケジュール

今年は、2012年～2015年のAPAY4か年計画の2年目にあたります。これまでに取り組んできた重要事項は、以下の3点です。

1. 運動強化(組織運営、リソース・モビリゼーション:財政的・人的な資源獲得、弱いYMCAの強化、スタッフ研修)
2. ユース・エンパワーメント(ユース委員会、ユース代表/チェンジ・エージェント、サブリージョンのユース・イベント強化)
3. 課題等(オルタナティブ・ツーリズム、ジェンダー研修、グリーン・アンバサダー、宗教間協力、ソーシャル・エコノミー)

上記のビジョンに基づく、4か年計画の2年目である2013年の計画は以下の通りです。

月	プログラム	コメント
1月	15-19日 サブリージョン・ユース代表ミーティング(バングラデシュ)	(本 e-News 1 ページに報告があります)
3月	5-8日 APAY 常務委員会(香港) 8-10日 ユース代表研修(香港) 15-17日 リソース・モビリゼーション研修(開催地未定)	ユース代表対象の研修を香港にて APAY 常務委員会の後に開催します。この研修は、アジア・太平洋地域のユース代表対象の研修で、2012年8月にスリランカで開催した同様のプログラムの補講です。
4月	18-22日 グローバル・オルタナティブ・ツーリズム・ネットワーク研修(フィリピン)	グローバル・オルタナティブ・ツーリズム・ネットワーク(GATN)は、実際にマーケティングを行う準備を始めました。APAY には、GATN 委員会の審査により、10のGATN 施設が立ち上がっています。2015年までに、提言としての機能も含めて、ツーリズム・モデル(手本)として50の施設が作り出されることが期待されます。
5月	8-14日 グリーン・アンバサダー(環境)研修(香港)	2012年5月に、チェンマイYMCAでグリーン・アンバサダー研修が開催され、28人が参加しました。その研修に参加したグリーン・アンバサダーたちは、各YMCAにおいて「グリーン・チーム」を立ち上げる際、指導者的な立場となることが期待されています。香港で開催される今年の研修は、基礎的な内容を想定しています。会場は、改修工事によって二酸化炭素排出ゼロ(プロジェクト・ゼロ)が達成可能な施設となった、ウーカイシャ・ユース・ビレッジです。私たちは、その試みから学びを得ることができるでしょう。

5月 (つづき)	日程未定 ソーシャル・エコノミー・ワークショップ(韓国)	ソーシャル・エコノミーは、グローバル化した経済活動の新たな形態です。増加する失業者、適切な雇用形態にないユース、富裕層と貧困層の拡大する格差などに対して、私たちには何が出来るか学ぶ必要があります。韓国には、上記のような問題に関して多くの経験があるため、韓国の事例から学びたいと考えています。(日程・開催地未定)
6月	3-14日 ジェンダー・アドバンス研修(バンコク) 28-30日 リソース・モビリゼーション研修(オーストラリア)	ジェンダー・アドバンス研修は、2012年のジェンダー・トレーナーズ・トレーニングの参加者対象のプログラムです。10日間のこの研修の参加者は、実際に各所属YMCAにて、ジェンダー研修を行うことを期待されています。
7月	5-7日 リソース・モビリゼーション研修(オーストラリア) 12-14日 リソース・モビリゼーション研修(開催地未定)	リソース・モビリゼーション研修は、各国YMCA同盟や各YMCAからの要望に基づき開催されます。APAYからは、受入YMCAには負担のないかたちで、各YMCAでのワークショップに2、3人のリソース・パーソンを派遣します。2012年にはインド、スリランカ、フィリピンの4か所で同様の研修を行いました。その研修の成果や影響については、3月6日のAPAY常務委員会にて、Ron Coulombe氏より報告されます。2013年、APAYは6月、10月、11月に、計3回のワークショップを開催する予定です。6月と7月には、オーストラリアのYMCAで開催されます。
8月	4-10日 ヨーロッパYMCAユース・フェスティバル(プラハ) (*世界YMCA同盟関連) 末 ユース・カンファレンス(開催地未定)	全世界のチェンジ・エージェント(ユース代表)が一堂に会す、チェコ・プラハのYMCAユース・フェスティバルには、世界YMCA同盟より、各国のユース代表とAPAYユース委員が招待されています。 8月末には、ユースのグループ、Uni-Y、キャンパスYやボランティアのグループなどを対象に、第2回ユース・カンファレンスが開催されます。(開催地未定)
9月	13-15日 リソース・モビリゼーション研修(2年目)(フィリピン?) 27-29日 リソース・モビリゼーション研修(2年目)(スリランカ?)	リソース・モビリゼーション研修(2年目)とは、2012年に行われた1年目研修のフォローアップ研修という意味です。したがって、2012年に1年目研修を行ったインド、スリランカ、フィリピンでは、2年目研修を行います。
10月	4-6日 リソース・モビリゼーション研修(2年目)(インド?) 11-13日 リソース・モビリゼーション研修(2年目)(インド?) 18-20日 リソース・モビリゼーション研修(2年目)(開催地未定)	
11月	4-30日 アドバンス・スタディー・プログラム 22-24日 リソース・モビリゼーション研修(開催地未定)	第31回アドバンス・スタディー・プログラムが4週間にわたって香港で行われます。管理職に就くYMCA主事などの派遣をお待ちしています。
2014年 1月	日程未定 ジェンダー・トレーナーズ・トレーニング	東アジア地域のYMCAを対象に、ジェンダーに関するトレーナー向けの基礎的な研修を開催します。

グローバル・オルタナティブ・ツーリズム・ネットワーク YMCA内での動き

Liem Hwee Ming

2012年が終わりに、新しい年を迎えるにあたり、APAY 主導のグローバル・オルタナティブ・ツーリズム・ネットワーク (GATN) が宝の枝を伸ばし始めました。そして、宝の枝は、私たちのために新たな希望をまぶしく輝かせています。GATN に加わることによって、以下の5つのことが可能になります。(1) 経験についてより多くの学びを得、共有すること、(2) 訪問者だけでなく受入側双方に利益をもたらすこと、(3) 現在と未来についてさらに配慮すること、(4) 地域コミュニティの発展に寄与すること、(5) 世界平和のために特権をなくして連帯感を生み出すこと。

GATN は、タイ、フィリピン、インド、インドネシア、バングラデシュとスリランカの全6か国にある、10か所のオルタナティブ・ツーリズム施設によって構成されています。10か所とは、チェンマイ、チェンライ、バンコク(以上タイ)、パンガシナン(フィリピン)、ガヤ(インド)、ジョグジャカルタ/クトアルジョ、スラバヤ、マカッサル(以上インドネシア)、ビリシリ(バングラデシュ)、コマリ(スリランカ)です。これらの地域では、教育的な観光、文化・自然観光、巡礼の旅、地球規模の連帯感やボランティア活動を目指す市民運動といったテーマを内包する、オルタナティブ・ツーリズムの発展が見られました。

これらのオルタナティブ・ツーリズム・サイトは以下のような“CHANGE アプローチ”に基づいています。

C (community-centered)

訪問するコミュニティの現実にふれ、エンパワーする

H (holistic)

文化の豊かさ、工夫などその地の知恵を学ぶ

A (advocating Global Citizenship and Global Networking)

正義や人権など考えお互いが関係していることを学ぶ

N (nature sensitive)

環境に責任ある行動をとる

G (gender and child sensitive)

女性や子どもの人権、搾取的な行動に注意を払う

E (economically viable and productive)

観光をととして利益が得られ、その利益が地元還元するように工夫する

上記のような努力の結果、豊富な経験を共有して設立された GATN によって、YMCA は、観光業(ツーリズム)という現代の主要産業においても、著名な活動団体として認識されるようになるでしょう。受入YMCA、訪問者、旅行者だけでなく、コミュニティにも利益をもたらすことになります。このことによって、YMCA が「連帯した観光業」に携わっていると考えていただけるようになるでしょう。GATN の主な目的は、YMCA の可能性を探り、YMCA オルタナティブ・ツーリズムのモデルをつくり出すことです。2011年の「GATN オルタナティブ・ツーリズムに関する国際フォーラム」では、貧しく、周縁化された人々やコミュニティに利益をもたらすため、アジア・太平洋地域のそれぞれの場にあるYMCAが変革したツーリズムに取り組むための多くの示唆が与えられました。

2012年に開設された、GATN のウェブサイト

(<http://www.ymcatourism.org>) は上記10か所の施設をわかりやすく紹介しており、2013年1月からは、カンボジアYMCAもシェムリアップやプノンペンでオルタナティブ・ツーリズムの試みを始めています。またその他のYMCAも GATN に加わる予定となっています。今後、このウェブサイトには、全世界のYMCAホテルの連絡先が掲載され、直接それぞれのホテルに予約ができるようになる予定です。したがって、GATN ウェブサイトを通じ、YMCAパッケージ・ツアーやYMCAホテル/宿泊所が世界の市場に売り出されるのです。これまでに開発されたオルタナティブ・ツーリズム施設も、世界的なマーケティングや満足なサービスの水準を保っているかどうか、GATN の承認を得ることになっています。

GATN の旅行者は、信用のある組織による、手ごろな値段の体験を、“CHANGE アプローチ”に基づくツアーの

旅行中にすることができます。地元コミュニティーの人々によって“CHANGEアプローチ”に基づくオルタナティブ・ツーリズムの意義が理解されれば、すぐに、彼らの手によって、コミュニティーの望むように、観光業をコントロールすることができるようになるのです。その後、オルタナティブ・ツーリズムは、それぞれのコミュニティーで、地元経済を改善するだけでなく、地元根付く、自然や文化的な遺産を保全・拡張するためのツールとなるでしょう。同時に、世界レベルのオルタナティブ・ツーリズム運動は、世界平和を目指す連帯感を主張し、よりよい環境のために貢献するでしょう。このようにして、オルタナティブ・ツーリズムを実施することによって、YMCAは、持続可能性をより高め、恵まれないコミュニティーや、悪化する環境のために癒す人となるだけでなく、私たち自身や他のコミュニティーの持続可能性が高まることによって、さらなる利益をもたらすことができるのです。

皆様のご支援とお祈りがともにあれば、今年も GATN が働きを続け、さらなる目的を達成することができるでしょう。2012年8月31日～9月2日には、GATNタスク・フォースによって企画委員会がバンコクにて開催され、そこでは、持続可能な運動の継続、世界平和、環境にやさしく、という今後3年間のアクション・プランについて話し合われました。世界は私たちのすぐ手の届くところにあります。世界で手を取り合って、より良い世界をつくりましょう。

シンガポールYMCA (YMCA of Singapore)
新総主事就任



シンガポールYMCAは2013年1月1日付で、Ng Kian Seng氏を総主事に任命しました。Ng Kian Seng氏は、企業やソーシャル・セクターに長く関わった経験があります。SAF Boys' School、BMW、グラクソ・スミスクラインや、Singapore Training and Development Association (STADA: シンガポール人材開発協会)等、さまざまな組織で働いてきた経験があり、非営利団体であるSTADAで

は10年以上トップ(Executive Director)のポストを務めてきました。

Kian Seng氏は、SIM Global Education(訳注:シンガポールで他国の大学の学位が取得できるプログラム)を通してオーストラリアのRMIT大学の経営学学士号を取得、その後、教育・人間開発学をアメリカのジョージ・ワシントン大学で学び、修士号を取得されました。

家族には妻と2人の娘がいます。Katong長老教会に所属しています。

YMCAファミリーに歓迎し、新しい役割でのご成功をお祈り申し上げます。

ユース・エンパワーメント・イン・アクション
Alvin KAN (APAYユース委員会委員長)



ユース・エンパワーメントの輝かしい年
2012年は、ユース・エンパワーメントに関して、輝かしい1年でした。

YMCAユース・カンファレンスが2012年7月17日～22日、シンガポールにて開催されました。「STEP UP: Encourage Educate Engage」というテーマの下で、シンガポールのUni-Yの学生たちのリーダーシップやマネジメントによって素晴らしい運営がされていました。ユースたちは、芸術、エンターテインメント、ビジネス、教育、家族、宗教、メディアや政府に関連した分科会ワークショップを通して、YMCAや社会を変えることができるよう刺激を受け、力をつけることができました。

チェンジ・エージェント対象の地球市民育成トレーニングが、2012年8月6日～12日、コロンボで開催されました。APAY主催のこのプログラムは、スリランカYMCA同盟による受け入れで行われました。アジア・太平洋地域のチェ

ンジ・エージェントたちが初めて一堂に会し、各YMCA、各国、そしてアジア・太平洋地域での自分たちの役割について考え、議論しました。チェンジ・エージェントたちは、地球市民育成がいかに重要であるか気づき、今後2年間、そして、その後のユース・エンパワーメントの活動を広める機会を探っています。

APAY インターナショナル・ワークキャンプが、インドネシア・スラバヤで、2012年10月1日～7日に開催されました。特にスラバヤYMCAとともに活動することに焦点を絞り、地球市民育成に応じた行動として実施されました。このワークキャンプは、地元やインドネシア国内のYMCAで、ユースのクラブをつくり、ユース主導のプログラムを開発することができるよう、スラバヤのユースたちを励まし、刺激を与えることが目的として行われました。

2013年…

2013年は、新しい考え方の始まり、新しい言葉の始まり、新しい行動の始まりの年です。2013年はエネルギー、強さ、アイデアの年です。

先を見据え、APAY ユース委員会は、ユース・エンパワーメント、ユースの抱える問題、ユースの“声”に関するメッセージを広め続けます。多くの皆様からのご支援と、世界レベル、地域レベルのさまざまなイベントにユースが参加することを期待しています。とりわけ、チェコ・プラハで8月4日～10日に開催されるYMCAユース・フェスティバル(テーマ「Love 2 Live」)に参加して下さることを期待しています。



発行元
アジア・太平洋YMCA同盟
Asia and Pacific Alliance of YMCAs
23 Waterloo Road, 6th floor, Kowloon, Hong Kong
tel. 852-2780 8347, 2770 3168, 2783 3058; fax 852- 2385 4692
e-mail: office@asiapacificymca.org